海外の大学図書館に学ぶ

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科
文部科学省研究振興局学術調査官
逸村裕

1.はじめに

研修の意義と目的

この四日間で何を学び，何を感じるのか
個人として/組織として

よく考えましょう

自己効力感

米国大学図書館の午後の風景2000

図書館はがらがらで静か

（コンピュータラボは満員）

入館者数	20%減少
一般図書貸出数	20%減少
リザーブ図書	60%減少
電子ジャーナル論文検索	350%増大
オンライン検索	800%増大

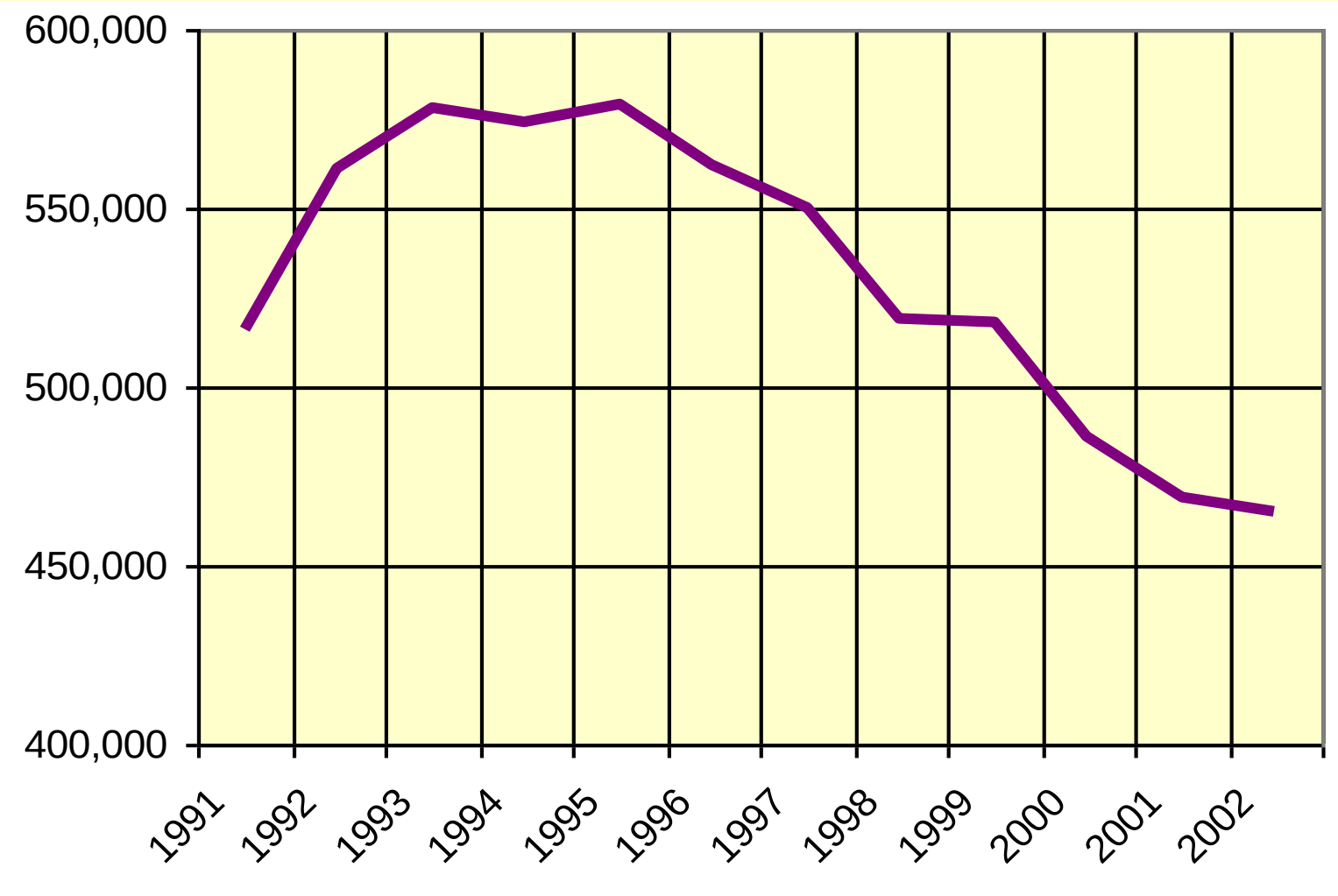
米国大学図書館の風景2006

あちこちに置かれたコンピュータ
居心地のいい座席と机そして喫茶室
24時間体制のテクニカルスタッフ
本は？
情報の収納庫から知的活動の場所へ

Library Commons
Information Commons
Learning Commons

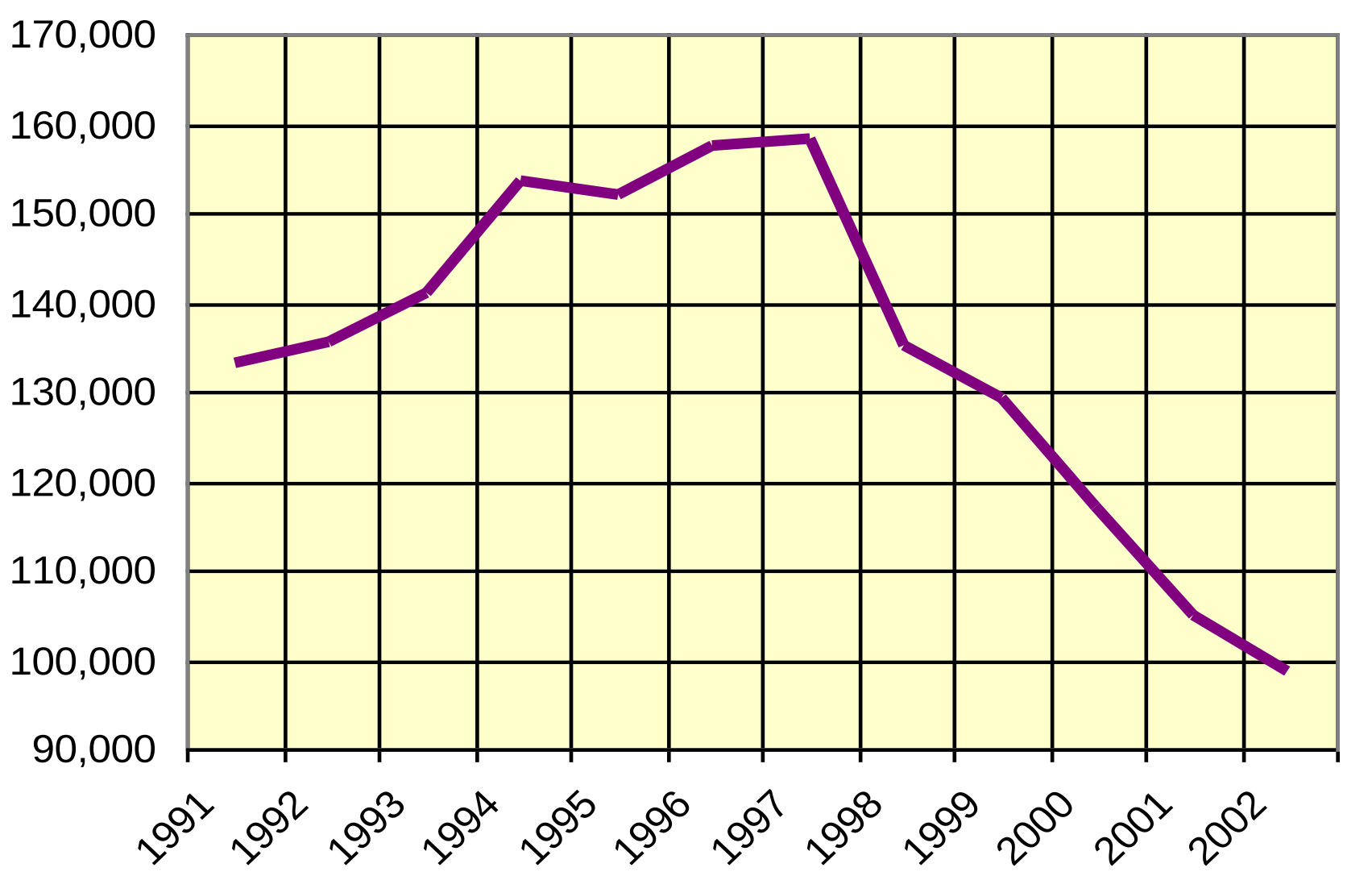
Scholar Portal

貸出件数



M. Kyrillidou and M. Young. (2003).
ARL Statistics 2002-03. Washington, D.C.: ARL, p.8.

レファレンスサービス件数



図書館は21世紀になっても信頼できる情報源であるか

98%の利用者は同意。
“My library contains information from credible and known sources.”

Digital Library Federation and Council on Library and Information Resources. (2002). Dimensions and Use of the Scholarly Information Environment.

情報利用行動の変化

インターネットは私の情報利用行動に影響を与えていない

１５.7%が同意

EUによる電子図書館構想　9/30/2005

欧州の図書館や文書館にある情報資源をオンラインで利用できるようにする。このプロジェクトの目的は、欧州の遺産に関する記録をデジタル化して保存し、欧州市民がオンラインで利用できるようにする。
書物、フィルム、写真、原稿、スピーチ、音楽などが対象。
欧州連合（EU）は、この計画の実現化に向けて、加盟国に対し高いレベルの協力を提案。
「集団的記憶なくして、われわれの存在は意味を持たず、何にも到達できない。集団的記憶はわれわれのアイデンティティを定義している。われわれは、教育、労働、余暇などのことあるごとに、この集団的記憶を利用する」

Yahoo!と Intenet Archivらによる“Open Content Alliance”（OCA） NY Times 10/3/2005

デジタルアーカイブ団体などとともに「デジタル化されたテキストとマルチメディアの恒久的アーカイブ」を構築するOpen Content Alliance（OCA）を設立した。
OCAには他にAdobe Systems、HP Labs、カリフォルニア大学、トロント大学、O‘Reilly Media、ネットアーカイブ団体が参加。アーカイブは非営利団体Internet Archiveが運営。
マルチメディアを含む世界中のデジタルコレクションが集める。コレクションはWebで公開され、Yahoo!がコレクションのインデックスを作成する。テキストコンテンツは自由に読めるように公開され、ほとんどの場合はPDFなどのフォーマットで保存・印刷できる。すべてのコレクションのメタデータはOpen Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting（OAI-PMH）やRSSなどのフォーマットを通じて公開される。

Google Book Searchとの関係

2.万国共通の大学図書館の役割

教育研究支援

教育とは
研究とは

社会貢献

３.海外の大学図書館と図書館員

北米図書館の数 総計 12万余

大学図書館　　3,658

　4年制以上　　2,220

　4年制未満　　1,438

公共図書館　　16,298（行政単位 9,074）

学校図書館　　93,861（公立76,807　私立 17,054）

専門図書館　　9,170

その他（行政・軍）1,655

（1）大学の位置づけ

大学のカーネギー分類

博士：Doctorate-granting Institutions

修士：Master's Colleges and Universities

学士：Baccalaureate Colleges

准学士：Associate's Colleges

専門大学：Specialized Institutions

:Tribal Colleges and Universities

Mission statement

（2）図書館の多様なあり方

大学WWWとの関係
Scholars Portal

研究との関わり
教育との関わり

実態把握
Fund raising

（３）図書館員

募集

The source for library job openings

Career opportunities

応募

選考委員会

決定

評価

(4)中期目標・計画と評価

対象(Target)
産出成果(Planned Outcome/Output)
評価指標（Performance Measure）
期限(Timeline)
担当者(Responsibility)

認証評価(accreditation)

(5)目録はどうなっていくのか？

Presentation topics should be of current interest to catalogers, cataloging managers and administrators.

Possible areas of discussion include but are not limited to:

* evolution, definition, and functions of the catalog and cataloging norms
* perceptions on cataloging quality of original and copy catalogers, public

services staff, and end-users

* emerging concepts of "next generation catalog"
* cataloging for "hybrid" and digital libraries
* cataloging record and its elements in different contexts
* RDA and FRBR
* bibliographic control of electronic and media resources
* authority control
* training of professional/paraprofessional staff

Campus Portal 普及率 （2005）

Campus Computing Project調査

	2002	2003	2004	2005
Private University	24%	28	54	62
Public University	28	44	52	61
Community College	22	26	30	34